

公 示

群馬大学医学部附属病院長選考規程に基づき、次期病院長を決定したので、同規程第9条の規定により下記のとおり公示する。

記

1 次期病院長氏名（現職名）

齋藤 繁 （ 群馬大学理事（病院担当）
群馬大学医学部附属病院長
群馬大学学術研究院教授（大学院医学系研究科主担当） ）

2 着任予定年月日

令和7年4月1日（任期2年）

3 選考した理由及び選考の過程

【選考した理由】

以下の理由により、齋藤繁氏を次期病院長に決定した。

- ①現病院長として、地域医療の中核的な重責を担い、県内を含め各地で活躍する医療系高度専門人材の養成・供給、物価高騰が続く中での確実な病院経営、医師の働き方改革を見据えた「大学病院改革プラン」の策定・実施、さらに全国に先駆けての診療記録（電子カルテ）の共有など患者参加型医療の推進や医療安全のための構成員への意識の徹底など、これまで同氏が中心的に進めてきた取組の継続・発展が期待できる。
- ②少子高齢化が継続し、現に深刻化している地域の医師不足等が引き続き懸念される中、「群馬県保健医療計画」を踏まえた医師派遣等による地域医療体制の構築、各診療領域の重要症例・治療困難症例への効果的・先進的な医療提供等に尽力してきた同氏は、今後、持続的・基幹的な地域医療拠点を構築していくため、群馬県立小児医療センターの本学附属病院隣接地への移転が決定したことを前提とする「病院再開発」に向けた構想の策定、実現への着手についても適任と考えられる。
- ③財政上、人員確保上、多様かつ複雑な課題を抱えている本学病院の経営のみならず、国立大学法人が設置する附属病院として、広く社会から要請されている役割を常に意識し、様々なメディカルスタッフを巻き込んだ多職種連携チームの育成、活動促進等を強く打ち出していることは、特に現下の医療環境を取り巻く厳しい状況において高く評価できる。

【選考の過程】

- ・令和6年9月5日（木）
群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を設置
- ・令和6年11月21日（木）
群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議から病院長候補者の推薦
- ・令和6年12月4日（水）
役員会の審議を経て、次期病院長を決定

令和6年12月4日

国立大学法人群馬大学長
石 崎 泰 樹

